

ALLwatch Tips

2011 年 11 月号
オムロンソフトウェア株式会社

「ALLwatch」は弊社が提供するモニターサービスの総称です。

DoPa 機から FOMA 機に変更に伴うパーツの共通性についての Q & A

オムロン製通報装置の DoPa 機から FOMA 機への切り替えに伴い、部品の流用に関するお問い合わせをいただきます。以下に流用の可否と対応方法を Q&A の形で案内します。

ZCT をそのまま使用したいのだが

- ・ZCT は巻線比が違うので流用できません。そのまま接続すると漏電値が 30% 多く表示されますので注意してください。

温度センサーは使えるか

- ・温度センサーはそのまま使用できます。

デマンド計測用のパルスセンサーは

- ・センサー、ケーブル共使用できますが FOMA 機にも新しいものが付属しています。

デマンド計測用のパルスセンサーを SW150PFK に接続できないか

- ・SW150PFK にはパルスセンサー用電源がありませんので直接接続することはできません。

外部アンテナは、そのまま使えるか

- ・周波数が違うので使用できません。

地下室からの延長ケーブルをそのまま使用したいのだが

- ・DoPa の周波数は 800MHz～900MHz 帯です、FOMA は 2.4GHz 帯を使用していますのでケーブルの減衰が増えて同じ長さでは使用できません。目安は約半分と考えてください。アンテナのゲインも FOMA のアンテナは DoPa のアンテナの半分以下になります。

長さが短くなくても延長ケーブルを使いたいのか

- ・作業手順は下記のとおりです。
- ・① FOMA 用のアンテナを購入してください。
- ・② DoPa と FOMA のアンテナのコネクターが違います。→ DoPa : BNC FOMA : SMA
電波の減衰に大きな影響がありますので必ず交換してください。
- ・③ DoPa と FOMA では電波の到達強度が違いますので FOMA の携帯電話で電波の強さを確認してください。電波強度を示すレベルが 3 以上の所にアンテナを設置してください。
- ・④ DoPa 用のアンテナケーブルは減衰が多いので余分なケーブルを残さずに極力短くなるようにしてください。
- ・⑤ 以上のような作業ができない場合はケーブルを FOMA 用のものに交換してください。
- ・詳しいことは資料がありますので弊社営業にお問い合わせください。

この案内に関するお問い合わせは、下記のフリーダイヤルにて承っております。



0120-053-606 (土・日・祝日を除く 9:30～17:30 (12:15～13:00 を除く))